

子育てのワンポイント

テーマ「しつけ」＜PART 2＞ 子どもの自尊心を大切に、どんな小さいことでも、できたことをちゃんと認めてあげる。そして失敗しても、挑戦したことを認めてあげる。

「しつけ」はいつから？どうやって？と悩むことがあると思います。8月号のPART 1でも書かせていただいたように、赤ちゃん時代は、人を信じることと自分を信じることの基盤づくりの時期で、その信じる力のもとになるのは、「自分は守られている」「自分は大切な存在なんだ」という安心感が人間形成の土台となります。これと共に、この時期に作るもう一つ大事な基盤が、子ども自身、自分で自分の衝動をコントロールするということなのです。そしてその手助けをするのが「しつけ」です。

子どもは発達するべきものが、さまざまに変わっていきます。その時期に学び取ることを順々成長していきます。成長とは積み重ねなのです。



「何でも自分でしたいのですから、できる時期がくればちゃんとできるようになります」

子どもは教えてもらうのが大好き。書けなくても字が書きたいし、スプーンを使うのがやっとでもお箸を使いたがったりします。歩くこともそうですよね。でも、親が「早く歩かせよう」と必死に教えたからといってすぐに歩けるようになるわけではありません。何でも自分でしたいのですから、できる時期がくればちゃんとできるようになるものなのです。いつできるかは子どもに任せましょう。おだやかに教えれば、何でもやりたがるのが子どもです。やりたいことをできるようになるまで、教えてあげる。無理強いをしないで、子どもが自分の力でやれるようになることが、子どもの自尊心を大きくすることにつながります。

「自尊心を育てる。やろうとする気持ちを大事にすること」

子どもは、できないのに何でもやろうとするのは自尊心を大きくしたいから。時には、自分でやろうとして失敗します。その挑戦を認めてあげれば、自尊心を育てていくことができます。

何かをしたとき、「ねえ、みて。こんなことができたよ」と言いに来たときは、『(こんなことが)できるようになった』と承認してほしいからです。親の承認を得ると、子どもの自尊心はより大きくなっていきます。

(PART3 へつづく) 「かわいがり子育て」 児童精神科医 佐々木正美 参照

今月の絵本

おつきさま なにみてる

なかじまかおり／作・絵 岩崎書店

りんご ごろごろ

もぎあきこ／文 ・ 森あさ子／絵 世界文化社



10月の予定

☆ 3日(金) 薮田公園であそぼう

☆ 16日(木) 親子でおやつづくり

☆ 31日(金) 親子で遊ぼう ミニ運動会

予約はそれぞれ一ヶ月前から受け付けています。

変更になる場合がありますので、詳細は電話など

で確認してください。



今月のわらべうた

おつきさま えらいの
かがみのようになったり
くしのようになったり
はる なつ あき ふゆ
にほんじゅうを てらす

今月のうた

＜まつぼっくり＞

まつぼっくりがあったとき
たかいおやまにあったとき
ころころ ころころ
あったとき
おさるがひろって
たべたとき

